

- 【あ】アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・アクション代表)/青木 美希(ジャーナリスト)/阿部 知子(前衆議院議員)/天笠 啓祐(ジャーナリスト)/飯田 哲也(認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長)/飯塚 直(高文研社長)/池田 こみち(株式会社環境総合研究所顧問)/石井 徹(元朝日新聞編集委員・ジャーナリスト)/磯野 弥生(東京経済大学名誉教授)/板井 八重子(医師)/伊藤 千尋(国際ジャーナリスト)/伊藤 康江(「食の安全・監視市民委員会」運営委員)/伊東 英朗(映画監督)/井上 ゆかり(水俣学研究センター研究員)/上原 公子(元国立市長)/今村 知明(公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)/上野 良治(合同出版会長)/海原 純子(医学博士・ジャズボーカリスト)/及川 智志(弁護士)/王 詩棋(ニューヨーク州立大学ストーニーストロブ校 博士後期課程)/尾崎 寛道(東京経済大学教授)/小田桐 誠(ジャーナリスト)/小澤 祥司(環境ジャーナリスト・高木基金顧問)
- 【か】加藤 タケ子(一般社団法人「きぼう・未来・水俣」)/加藤 光広(昭和大学医学部教授)/兼崎 暉(医師)/鎌田 慧(ルポライター)/神山 美智子(弁護士)/川俣 修壽(ジャーナリスト)/川田 龍平(川田龍平といのちを守るサロン)/漢人 明子(東京都議会議員)/菅野 庄一(弁護士)/橘高 真佐美(弁護士)/城戸 照彦(金沢大学教授・ベトナムハノイ医科大学名誉教授)/木村・黒田順子(環境脳神経科学情報センター)/久保田 好生(東京・水俣病を告発する会)/熊本学園大学水俣学研究センター/桑原 史成(報道写真家)/鯉淵 典之(日本内分泌攪乱物質学会会長)/河野 裕昭(フォトジャーナリスト)/小泉 雅弘(NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」事務局長)
- 【さ】齋藤 幸平(東京大学大学院総合文化研究科教養学部准教授)/蔡 崇隆(映画監督)/坂田 雅子(映画監督)/坂口 恭平(作家)/佐々木 裕子(薬学博士・元東京都環境科学研究所)/坂原 辰男(栃木在)/佐藤 禮子(カネミ油症被害者支援センター共同代表)/四方 哲(ロシナンテ社)/澁谷 徹(環境エビジェネティクス研究所)/「食卓の肖像」上映委員会/白石 草(ジャーナリスト・NPO 法人 Our Planet TV 代表理事)/杉浦 ひとみ(日弁連人権擁護委員会委員、東京弁護士会子ども権利委員会委員)/関口 達夫(元長崎放送記者)/関 礼子(立教大学社会学部現代文化学学科教授)
- 【た】高木 久仁子(高木仁三郎市民科学基金代表理事)/高橋 千佳(生活協同組合あいコープみやぎ前理事長)/武田 玲子(医師)/田島 征三(絵本作家)/田中 俊(弁護士)/田中 美穂(快医学ネットワーク)/田中 優子(元法政大学総長・現イシス編集学校学長)/田中 優子(世田谷区議会議員)/谷 洋一(水俣病被害者互助会事務局長)/築田 敬子(函館東山地域環境対策委員会代表)/陳 昭如(作家(台湾))/堤 未果(国際ジャーナリスト)/槌田 博(NPO 有害化学物質削減ネットワーク理事)/築野 富美(築野食品工業株式会社社長)/寺西 俊一(日本環境会議理事長)/寺田 良一(明治大学名誉教授)/遠山 千春(医学博士)/戸田 清(長崎大学名誉教授)
- 【な】中村 桂子(JT 生命誌研究館名誉館長)/中地 重晴(熊本学園大学)/中村 梧郎(フォトジャーナリスト)/中村 雄幸(水俣の環境を考える市民会議)/奈須 りえ(大田区議会議員)/名取 雄司(中皮腫・じん肺・アスベストセンター理事長)/二通 諭(札幌学院大学名誉教授)/野澤 淳史(東京経済大学現代法学部准教授)
- 【は】畑 明郎(大阪市立大学大学院教授)/花田 昌宣(「水俣病訴訟を支える会」代表)/鳩山友紀夫(由紀夫)(元内閣総理大臣・一般財団法人東アジア共同体研究所理事長)/林 美帆(公害資料館ネットワーク)/原科 幸彦(横浜商科大学学長、東京科学大学名誉教授)/原田 和明(元大学教員)/原田 浩二(京都府立大学教授)/平野 敏夫(ひらの亀戸ひまわり診療所理事長)/藤野 紘(医師)/古谷 杉郎(全国労働安全衛生センター連絡会議事務局長)/北條 祥子(尚絅学院大学合人間科学系名誉教授)/穂坂 光彦(日本福祉大学・福祉社会開発研究所研究フェロー)/堀谷 幸治(環境エビジェネティクス研究所)/本田 雅和(元朝日新聞記者・現週刊金曜日記者)
- 【ま】松井 和子(岐阜在住者)/丸山 啓史(京都教育大学教員)/水野 玲子(NPO 法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議理事)/三井 元子(NPO 法人エコロジー夢企画理事長)/三苫 哲也(カネミ油症被害者)/宮内 泰介(北海道大学大学院文学研究院教授)/宮田 秀明(摂南大学名誉教授)/武藤 有子(中野区議会議員)/武藤 類子(原発事故被害者団体連絡会共同代表)/藻谷 浩介(株式会社日本総合研究所 調査部 主席研究員)/森川 登美江(ありらん文庫)/諸永 裕司(ジャーナリスト)
- 【や】安田 節子(食政策センタービジョン 21 代表)/山下 善寛(元チッソ従業員)/山田 國廣(京都精華大学名誉教授)/吉川 ひろし(元檜原村議会議員)/吉田 邦彦(中国・広東外語外貿大学法学院・雲山特別教授)/吉谷 清光(五島市元副市長)
- 【わ】和田 央子(放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会)/渡邊 泉(東京農工大学教授)

## 齋藤幸平氏からのメッセージ

日本の歴史を振り返ると、森永ヒ素ミルク中毒事件、水俣病事件、そしてカネミ油症事件に至るまで、同じ構造を繰り返されてきました。すなわち、利益や効率が優先され、人の命や健康が後景に追いやられる社会のあり方です。これらは単なる「過去の過ち」ではなく、気候変動のようにいまなお形を変えて持続している問題です。

資本主義のもとでは、コスト削減や競争の圧力が、安全対策の軽視や責任の曖昧化を招きがちです。重要なのは、被害を「例外」として処理するのではなく、それを生み出す社会の仕組みそのものを問い直すことです。命や健康を中心に据えた社会へと転換しない限り、同様の被害は形を変えて再発し続けるでしょう。その意味で、被害者の闘いと支援の積み重ねは、単なる補償や尊厳回復の問題にとどまらず、社会の優先順位を根本から変えるための実践でもあります。

私たちはいま、成長や効率ではなく、ケアと持続可能性を基軸とする社会へと舵を切る必要があります。そのためには、被害の記憶を風化させず、連帯を広げながら制度の変革を求め続けることが不可欠です。皆さまのこれまでの取り組みに深い敬意を表するとともに、その意義がより広く共有されることを願っています。